

令和6年度
事業報告書

令和7年5月
一般財団法人 西日本産業衛生会

令和6年度事業報告書

<はじめに>

パンデミック以後の日本のインフレ率は明確にゼロを上回って推移し、日本銀行の異次元緩和政策の解除によって「金利ある世界」に回帰、賃金伸び率の回復、日経平均株価の史上最高値更新に象徴されるように、令和6年の日本経済は、30年にわたる停滞からの脱却に期待が高まりました。その反面、想定以上の高齢化や経済の低成長に見合わない医療・介護給付の矛盾は、政府債務の累増として表出し、日本経済の未来に不安を投げ掛けている状況です。

かかる中当財団は、昨今の物価高騰、および高水準の賃上げが実施されている社会情勢を鑑み、人材確保や賃上げに向けた対応として、ベースアップの実施および福利厚生制度の拡充を行いました。全役職員の定期健康診断時において各種オプション検査を上限20,000円（税込）まで法人の費用負担といたしました。

また、北九州病院グループ発展のため、令和6年5月の理事会の承認を受け西日本看護医療大学（仮称）設置に係る寄付金として15億円を学校法人創心会へ寄付いたしました。

令和7年度につきましては、まずは5か年中期計画の策定に取り組みます。損益、設備投資、資金収支、採用、また法令遵守態勢や内部統制機能強化など、将来在りたい姿を明確にしていきます。設備投資においては人件費や物件費が高騰する状況を勘案しつつ優先順位を判断し、収支のバランスを取りながら取り組んでまいります。特に長年の課題であった大分労働衛生管理センターの新築移転の計画を開始いたします。また、前年に引き続き「法令等遵守態勢の強化」、「組織力の強化」「業務改善」においては、主要施策と位置づけ実行してまいります。

- ① 「法令等遵守態勢の強化」については、令和5年12月にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス重視の企業風土づくりに取り組んでまいりました。このような中、財団の健全性と適正性を確保することを目的に、更なる内部統制機能強化によるリスクの軽減と不祥事の未然防止に取り組むため、新たに「監査室」を新設するとともに、内部監査手法を抜本的に見直してまいります。
- ② 「組織力の強化」については、本部組織を更に機能的なものにするため、業務分掌を一部見直し、業務企画部のコンプライアンス部門を総務人事部へ移管のうえ、厳格な内部監査の実現を目指し、監査体制の構築に取り組んでまいります。

各施設においては、管理職を含め適材適所の人材再配置を進めてまいります。最適な人材を配置することで、職場の活性化を図り、環境変化や市場のニーズに応じて柔軟に対応でき、持続的な成長を目指す組織を創っていきます。

- ③ 「業務改善」については、システム化による業務の効率化と職員及び顧客満足度の向上に取り組んでまいります。また、システム化・デジタル化によるサービス機能の向上について検討を進めてまいります。

以下に令和6年度の事業活動について記述いたしますが、厳しい経営環境の中、関係各位のご理解とご協力により、延べ受診者数が54万人に達しました。各部門で相応の実績を残すことが出来たことを厚くお礼申し上げます。

1. 内部体制の整備

(1) 研修

健康診断業務に対するニーズの多様化・高度化に対応する為、各種学会・講習会などに積極的に参加し、専門知識・技術・技能の習得に励みました。

全国労働衛生団体連合会・日本産業衛生学会・日本作業環境測定協会・日本総合健診医学会など諸団体が主催する学会・研究会・講習会に、医師・保健師・コメディカル職員等が多数参加し、延べ765名が外部研修を受講したほか、社内研修会には延べ552名が参加致しました。

(2) 施設・機器の整備等（主な更新機器は別紙Ⅰのとおりです）

令和6年度も健診内容の充実と精度向上のため、各施設の必要に応じた医療機器の新設・増設・更新を行いました。また、PET健診センターでは、PET-CT装置の更新を行い、より効率よく検査できる体制が整いました。

2. 事業活動状況（別紙Ⅱに詳しい数値を示しております）

（公益事業）

(1) 産業保健事業

働く人々の健康づくり・健康管理のため、契約事業場と協力しながら産業医・保健師活動を行っております。ストレスチェック制度の施行や、長時間労働に対する医師の面接指導の法制度化、有所見率の改善に向けた取組の促進などにより、産業医の活動時間が大幅に増大する一方、全国的な産業医有資格者の不足・偏在によって、産業医有資格者の確保が非常に難しくなっておりますが、当財団では産業衛生学会により、産業衛生専門医研修施設認定を受けるとともに、実践経験豊富な専門産業医および労働衛生コンサルタントによるティーチング制度を導入し、より良質のサービス展開のために産業医・産業保健の品質向上活動を続けています。また地元、産業医科大学の全面的なご協力を得ながら意欲ある優秀な産業医をご推薦いただき、企業ニーズへの対応・最新情報の提供などの活動を展開してまいりました。その結果、契約先数は765事業場となっております。

(2) 健康情報発信および相談事業

①無料セミナーの実施

健康および労働環境に関するセミナーを通じて、周辺企業および住民の健康に関する普及啓発活動を行う事を目的としますが、健康企業研究会「東田塾」は、北九州・福岡・大分において延べ9回開催し、179社（延べ数）の参加と

なりました。その他オンデマンドによるセミナーは、296名の参加となりました。

*開催実績はご覧のとおりです。

セミナー名（開催地）	参加企業	開催月	セミナーの内容
働く人と職場の健康づくりセミナー（オンデマンド）	150名	令和6年5月	・怒りのマネジメントによるハラスメント対策
東田塾（北九州）	23社	令和6年7月	・監督署は見ている～元労働基準監督官が語る臨検監督等～
〃（福岡）	25社		
〃（大分）	22社		
東田塾（大分）	18社	令和6年10月	・健康で戦える食事
〃（福岡）	13社		
〃（北九州）	22社		
働く人と職場の健康づくりセミナー（オンデマンド）	94名	令和6年9月	・監督署は見ている
東田塾（北九州）	22社	令和7年2月	・人間工学を活用した働きやすい職場づくり
〃（福岡）	18社		
〃（大分）	16社		
働く人と職場の健康づくりセミナー（オンデマンド）	52名	令和7年2月	・健康で戦える食事

②健康情報誌の無償配布

「健康情報誌 あんしん通信」の紙面を刷新しタイトルも「まもる」に変更し、北九州版・福岡版・大分版に分けて、より充実した内容で有用な健康情報を提供する事としました。年間3回18万部を発行いたしました。

③健康等に関する相談対応

病気や障害に起因するさまざまな社会生活上の心配事、患者が抱えている問題、悩み等の問題解決のために、社会福祉の立場から看護師及び保健師を相談員として配置し、無料で相談に応じています。

(3) 健診結果等の集計

労働衛生機関として、地域によりよい健康管理サービスの提供を行う為、健康診断結果等を集計分析し、医師・保健師・作業環境測定士・看護師等の専門家が、各種関係団体の研究会・研修会などへ参加して、研究成果を発表しております。また、昨年に引き続き「事業年報」を発刊いたしました。

（主な研究発表は別紙Ⅲの通りです）

(収益事業)

(1) 健康診断事業

基幹事業のひとつである健康診断については、受診者総数延べ541,032人となりました。

健診種別毎の概要は以下の通りです。

① 一般健診

228,135人の法定健診を実施し、前年対比では102%となっています。

② 協会けんぽ健診

平成19年度より、当財団4施設すべてで実施しています。受診者127,894人となり、前年実績比104%となっています。

③ 生活習慣病健診

生活習慣に起因する3大疾病の発見を目的として、法定健診にさらに項目を追加した健康診断ですが、受診者は49,248人となり、前年実績比102%となりました。

④ ドック健診

一泊ドックを含む総合健診で、多くは当財団と健康保険組合が契約して、組合員・配偶者が受診機関を個人選択する健診です。受診者は27,760人で、前年実績比103%となりました。今後も多様化するニーズの把握と、お客様の満足度の向上に努めます。

⑤ PET健診

最先端のがん検診の1つとして、地域での認知度も向上していますが、受診者は4,363人で、前年実績比98%となっております。これは、常勤医師が2名から1名体制へ変更になった影響によるものです。

平成16年の開設以来、累計受診者は延べ86,931人となりましたが、引き続きPETによるがん検診の有効性を啓蒙し、地域社会からの「がん撲滅」に貢献してまいります。

⑥ 付加健診

基本健診に付随するオプション検査ですが、近年特に乳がん・子宮がん等への関心が高まっております。実績件数は延べ286,470件、前年実績比103%となっています。今後も最新の医療情報に基づいたオプション検査の提供に努めます。

⑦ 住民健診（含む特定健診）

地元医師会・官公庁との連携を深めその使命を果たしました。但し、遠方の住民健診を効率化の観点より見直し、受診者は17,202人となり、前年実績比98%となりました。

⑧ 再検査・二次検査

一次健診の事後フォローとして、受診者への的確なご案内を心がけております。受診者にご負担を掛けないように一次検査の精度・判定を的確にする努力を今後も続けます。受診者は509人と前年実績比46%となりました。これは、福西会病院等グループ病院へ二次検査を積極的に誘導したことや専門医への受診勧奨を行ったことから、大きく減少したものです。

⑨ 特殊健診

特殊業務に関しての法令に基づく健診ですが、企業外労働衛生機関として、必要な健診を産業医・保健師・また労働衛生コンサルタントと連携し的確にご支援することは重要な業務のひとつと考えております。受診者は85,921人、前年実績比で104%となりました。

⑩ 外来診療

受診者は570人、前年実績比では80%となりました。これは、健診受診者増加に伴い、一般外来の診察や投薬の処方箋作成等を制限したのが要因です。

(2) 環境測定事業

作業環境・煙道排ガス・石綿その他の分析・測定業務に取り組んでおります。作業環境測定については14,255件（前年比111%）、石綿については、3,630件（前年比102%）となりました。

また、平成24年度に大阪以西では初めての認定機関となった作業環境測定士登録講習については年間20回・合計234名の講習を実施したほか、26年度から開始した作業主任者技能講習についても年間20回・合計601名の講習を実施しました。

冒頭に記述致しましたとおり、厳しい経営環境の中、業務全般に亘って概ね計画通り達成できました。また、前年度に対しても大きく伸長する事が出来ました。

今後とも関係各位の皆様の変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げまして、令和6年度の事業報告とさせていただきます。

別紙 I

令和6年度 主要設備機器の整備状況

物件名称	数量	取得年月	区分
北九州健診診療所			
(機器)			
・ 視力計 スクリーンスコプ SS-5	1	2024. 4	更新
・ 超音波画像診断装置 Aplio Verifia	2	2024. 5	更新
・ 超音波画像診断装置 Aplio Verifia	1	2024. 5	増設
・ 電動スハイロメータ HI-801	1	2024. 7	更新
・ オシメータ AA-M1C	1	2024. 8	更新
・ 内視鏡システム一式 EVIS X1	1	2024. 10	更新
・ 内視鏡用大型吸引器 TAF-S	1	2024. 10	更新
・ 上部消化管汎用ビデオスコプ GIF-1200N	6	2024. 10	更新
・ 内視鏡保管庫 TM-404	1	2024. 11	更新
・ 診察台 EX-CS2N	1	2024. 11	更新
・ 読影支援システムサーバー (Result Manager)	1	2024. 12	新規
PET健診センター			
(設備)			
・ 管理区域排気ファン EF-3・4・5・6	1	2024. 4	更新
・ RI廃棄設備フィルターユニット更新	1	2024. 11	更新
・ 空調設備更新 (外調機系統・パッケージ系統)	1	2025. 2	更新
(機器)			
・ ProRad RISシステム一式	1	2024. 5	更新
・ 自動身長計付体組成計 DC270AN	1	2025. 1	更新
・ PET-CT装置 Omni Legend 2Plus	1	2025. 2	更新
北九州産業衛生診療所			
(設備)			
・ スチールパーテーション	2	2024. 5	増設
・ 1F受付カウンター一式	1	2024. 5	増設
(車両)			
・ 胸部X線検診車 (60号車)	1	2024. 10	更新
・ 胸部X線検診車 (34号車)	1	2025. 1	更新
(機器)			
・ 全自動身長体重計 AD-6228AP	1	2024. 4	新規
・ 心電計 C340BX	2	2024. 5	更新
・ 電動式深視力計 AS-7JS7	1	2024. 7	更新
・ スハイロメータ HI-801	1	2024. 7	更新
・ VDT近点計 NS-100	1	2024. 9	更新
・ 超音波診断装置 ARIETTA650	1	2024. 9	更新
・ 巡回超音波用マッチングシステム	1	2024. 9	更新
・ 超音波骨量測定装置 UBM-3000	1	2024. 11	新規
・ フロート非接触眼圧計 TX-20P	1	2025. 3	更新
・ 発電機 ONAN	4	2024. 6	更新

大分労働衛生管理センター

(車両)

・ デジタル胃・胸部検診車 (31号車) (特定)	1	2024.	6	更新
---------------------------	---	-------	---	----

(機器)

・ 婦人科検診台 DG-770N	1	2024.	4	更新
・ オージオメーター AA-K1A	1	2024.	7	更新
・ 心電計 C340BX	2	2024.	7	更新
・ 近点計 NS-100	1	2024.	9	更新
・ 発動発電機 12HDJCD/200V	1	2025.	3	更新
・ タブレット型PC Y240501-001	3	2024.	6	更新
・ 電話自動音声ガイダンス機器	1	2024.	4	新規
・ 読影支援システムサーバー (Result Manager)	1	2024.	12	新規

福岡健診診療所

(設備)

・ CT室系統エアコン更新	1	2024.	6	更新
---------------	---	-------	---	----

(機器)

・ マンモグラフィ装置制御ワークステーション AMULET AWS-h	1	2024.	4	更新
・ 全身用X線CT診断装置 SUPRIA-2.0M	1	2024.	4	更新
・ オージオメーター AA-MIC	1	2024.	5	更新
・ 聴力ボックス AT-EIA FB-41A	1	2024.	5	更新
・ 卓上遠心機 S500T	1	2025.	1	更新
・ 婦人科診察台 メグシヨイ 1146675	1	2025.	3	更新
・ アトム診察ユニット EU-70 α	1	2025.	3	更新
・ 読影支援システムサーバー (Result Manager)	1	2024.	12	更新

環境測定センター 八幡事業部

(機器)

・ ガスクロマトグラフ GC-8890	1	2024.	7	更新
・ 分光光度計 UH5200	1	2024.	9	更新
・ 振動レベル計 VX-57EX	3	2025.	1	更新
・ ノートPC SHINWA-004	2	2024.	11	1台更新1台新規
・ 講習管理システム用マークカードリーダー	1	2025.	3	更新

環境測定センター 大分事業部

(機器)

・ 全自動多目的X線回折装置 XPert PRO	1	2024.	11	更新
・ 環境検査システムサーバー	1	2024.	10	更新
・ デジタルカラー複合機 BP-50C65	1	2024.	12	新規
・ 講習管理システム用マークカードリーダー	1	2025.	3	新規

事務センター・本部

(機器)

・ LAN構築工事	1	2025.	1	増設
・ 読影用端末 5M2面カラー EIZO RX560	1	2024.	4	増設
・ 読影支援システム事務用端末	1	2024.	4	増設
・ 健診サーバー	1	2024.	7	更新
・ 特定保健指導システム (NewRainbow) システムサーバー	1	2025.	3	更新
・ 健診ビル 給水増圧ポンプ取替工事	1	2024.	11	改修
・ 会計システム (ミロク情報システム) サーバー	1	2024.	9	更新
・ 仮想端末制御用サーバー (会計システム)	1	2024.	9	更新

＜事業活動状況＞

(公益事業)

区 分		令和5年度実績	令和6年度計画	令和6年度実績	前年対比	備考
(1)産業保健事業	実施事業場	727	770	765	105%	
(2)健康情報発信	健康情報誌	195,000	180,000	180,000	92%	発行部数

(収益事業)

区 分		令和5年度実績	令和6年度計画	令和6年度実績	前年対比	備考
健康診断	一 般 健 診	222,998	224,350	228,135	102%	人員
	協 会 け ん ぽ 健 診	123,508	119,030	127,894	104%	〃
	生 活 習 慣 病 健 診	48,445	49,000	49,248	102%	〃
	ド ッ ク 健 診	26,986	27,100	27,760	103%	〃
	P E T 健 診	4,443	4,430	4,363	98%	〃
	付 加 健 診 (注)	(279,419)	(277,577)	(286,470)	103%	件数
	特 定 ・ 住 民 健 診	17,538	20,000	17,202	98%	人員
	再 検 査 ・ 二 次 検 査	1,103	1,100	509	46%	〃
	特 殊 健 診	83,009	83,780	85,921	104%	〃
	外 来 診 療 (注)	(714)	(630)	(570)	80%	〃
合 計		528,030	528,790	541,032	102%	(注)延べ受診人員
環境測定	作 業 環 境	12,830	13,040	14,255	111%	件数
	煙 道 ガ ス	480	490	622	130%	〃
	石 綿	3,560	3,620	3,630	102%	〃
	そ の 他	17,426	17,300	19,027	109%	〃
	合 計	34,296	34,450	37,534	109%	件数

(注)：健康診断合計には、()内数値(付加健診及び外来診療)を除き、一般健診については有害業務従事者の重複健診、協会けんぽについては付加健診・がん健診ほかの重複受診者を含む延べ人員を表示。

<事業活動内訳>

(1)健康診断

区分	科目名	令和5年度実績	令和6年度計画	令和6年度実績	備考
一般健診	定期①	155,208	159,320	159,451	
	定期②	14,303	14,970	14,476	
	特定業務	44,200	41,070	45,474	
	雇入時健診	9,287	8,990	8,734	
	小計(一般健診)	222,998	224,350	228,135	
協会けんぽ健診	一般健診	96,134	95,140	100,184	
	付加健診	2,635	4,170	7,679	
	乳がん	7,663	6,040	8,000	
	子宮がん	14,340	11,180	10,871	
	肝炎ウイルス検査	2,736	2,500	1,160	
	小計(協会けんぽ健診)	123,508	119,030	127,894	
生活習慣病健診		48,445	49,000	49,248	
ドック健診	日帰り人間ドック	26,182	26,300	27,033	
	一泊ドック	804	800	727	
	小計(ドック健診)	26,986	27,100	27,760	
PET健診		4,443	4,430	4,363	
付加検査(オプション)		279,419	277,577	286,470	
特定・住民健診		17,538	20,000	17,202	
再検・二次検査		1,103	1,100	509	
特殊健診	じん肺	8,259	8,120	8,928	
	歯牙	1,665	1,500	1,624	
	鉛	668	730	720	
	有機溶剤	16,752	16,780	17,128	
	特定化学物質	28,094	27,000	28,790	
	高気圧	312	300	351	
	電離放射線	2,913	2,700	3,061	
	石綿	2,509	2,500	2,653	
	その他特殊	21,550	23,900	22,408	
	特殊二次	60	30	35	
	管理手帳	227	220	223	
	小計(特殊健診)	83,009	83,780	85,921	
小計(外来)		714	630	570	

(2)環境測定

	科目	令和5年度実績	令和6年度計画	令和6年度実績	備考
作業環境	粉じん	2,348	2,340	2,384	
	特定化学物質	3,740	3,790	4,052	
	金属	750	780	882	
	有機溶剤	3,578	3,590	3,953	
	騒音	1,096	1,120	1,276	
	照度	11	10	19	
	事務所管理	69	80	80	
	局所排気定期点検	695	690	815	
	作業環境診断	15	30	15	
	その他	528	610	779	
	小計	12,830	13,040	14,255	
煙道排ガス	煤じん	113	100	136	
	(特検)鉛	76	80	125	
	窒素酸化物	95	110	141	
	その他	196	200	220	
	小計	480	490	622	
その他	排水	467	460	498	
	飲料水	49	50	43	
	産業廃棄物	43	40	61	
	その他	5,657	5,450	7,175	
	(特検)有機溶剤	11,210	11,300	11,250	
	石綿	3,560	3,620	3,630	
	小計	20,986	20,920	22,657	
合計		34,296	34,450	37,534	

別紙Ⅲ

令和6年度 研究発表 概要

健診部門（研究発表）

- (1) 日 時 2024年5月17日（金）
場 所 東京国際フォーラム
講 演 会 第67回日本糖尿病学会年次学術集会
発 表 題 名 日本人2型糖尿病患者におけるGlycation Gapと低血糖に関するCGM指標との関連
発 表 者 北九州産業衛生診療所 医師 園田 里美

環境部門

- (1) 日 時 2024年6月27日（木）～2024年6月28日（金）
場 所 長崎県長崎市宝町2-26 THE GLOBAL VIEW 長崎
学会・研究会名 令和6年度九州支部作業環境測定技術研修会
発 表 題 名 鋳造工場におけるホムアルデヒドのリスク評価事例について
発 表 者 環境測定センター大分事業部 環境測定士 柳木 啓一郎
- (2) 日 時 2024年6月27日（木）～2024年6月28日（金）
場 所 長崎県長崎市宝町2-26 THE GLOBAL VIEW 長崎
学会・研究会名 令和6年度九州支部作業環境測定技術研修会
発 表 題 名 第3管理区分が継続しているホムアルデヒド作業環境測定作業場における改善事例について
発 表 者 環境測定センター北九州事業部 環境測定士 倉田 涼平
- (3) 日 時 2024年11月16日（土）～2024年11月18日（月）
場 所 北九州市 北九州国際会議場
学会・研究会名 第45回 日本作業環境測定協会学術大会
発 表 題 名 鋳造工場におけるホムアルデヒドのリスク評価事例について
発 表 者 環境測定センター大分事業部 環境測定士 柳木 啓一郎
- (4) 日 時 2024年11月16日（土）～2024年11月18日（月）
場 所 北九州市 北九州国際会議場
学会・研究会名 第45回 日本作業環境測定協会学術大会
発 表 題 名 第3管理区分が継続しているホムアルデヒド作業環境測定作業場における改善事例について
発 表 者 環境測定センター北九州事業部 環境測定士 倉田 涼平

健診部門（論文）

- (1) 刊 行 物 名 Dentomaxillofac Radiol. 2024 May 23
発 表 題 名 The relationship between the uptake of alveolar bone inflammation and of cervical lymph nodes on FDG-PET
執 筆 者 Masafumi Oda, Hirofumi Koga, Shota Kataoka, Shinji Yoshii, Susumu Nishina, Toshihiro Ansai, Yasuhiro Morimoto